

1 会員数及び会費(平成19年度)

区分	P会員	T会員	その他会員	計
会員数	306人	26人	0人	332人
一人あたりの会費(年額)	4200円	4200円	0円	

2 収支決算(平成19年度)

収入の部	会費収入	1,685,452円	その他の収入	318,732円	計	2,004,184円
支出の部	費目	支出額	摘要(主な使途)			
	事務費	507,673円	事務員手当・事務用品・通信費(郵送、切手)			
	広報費	157,503円	PTA新聞「日佐」用紙代、インク代等			
	学校後援費	139,141円	運動会新1年生メダル、親子レク材料、防犯パネル等			
	その他	910,619円	負担金・保険金費・渉外費・慶弔費・会議費・研修費 交通費・活動費・予備費等			
	計	1,714,936円				

3 設けられている会則・運営細則・会議細則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
福岡市立日佐小学校父母教師会規約	昭和30年3月7日	施行
福岡市立日佐小学校父母教師会運営規定細則	昭和30年3月7日	施行

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの沿革(活動のトピックスのみ記載)
明35年 4月	筑紫郡日佐尋常小学校として開校
昭29年	福岡市立日佐小学校と校名改称
57年	PTA新聞福岡県知事賞優秀賞受賞
60年	PTA新聞福岡県教育委員会賞受賞
平13年 11月	創立100周年記念式挙行
15年 6月	PTA新聞福岡市PTA協議会優秀賞受賞
15年 8月	PTA新聞日本PTA全国協議会奨励賞受賞
16年 10月	PTA九州ブロック団体表彰受賞
17年 11月	日本PTA協議会会長賞受賞
18年 5月	福岡市PTA協議会団体表彰受賞
18年 11月	福岡市教育委員会表彰受賞
20年 2月	福岡県教育委員会表彰受賞
20年 11月	優良PTA文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

日佐は、福岡市の南部に位置し、古くから那珂川沿いに村が栄え、通訳たちが居住し、国際交流の拠点・要として、重要な役割を果たしてきたと伝えられている。本校は明治35年4月に開校し、昭和29年に筑紫郡日佐村から福岡市に合併し、以来、都市化による急激な児童数の増加に伴い、4回の分離開校を重ね、創立107周年を迎える。

校区には「住吉神社」や「大日堂」記念碑等の歴史的遺産が多く、「子ども相撲」や「夏越しまつり」「ほんげんぎょう」等の伝統行事が今も続いている。また最近では那珂川の清流を取り戻し、「ホタルの会」の活動も盛んである。それから、田植えや稲刈りなどの体験学習も行われている。このような地域の中で、様々な交流や豊かな体験を通して、心豊かでたくましく生きる児童の育成を図っている。

6 組織運営の状況

役員会を中心に、学年委員会・保健委員会・成人教育委員会・広報委員会・地域委員会で構成されている。年2回の総会と年度初めの委員総会、各正副委員長及び役員で構成する毎月1回の運営委員会を実施している。

また本会の特色として、委員だけの活動にならないために、全員係制で活動している。「あなたの参加が創る笑顔あふれるPTA」をスローガンに、全会員が何らかの形で活動に関わりながら、共に体験することで、人間関係作りを深めている。さらに各委員会の定例会の定着と、委員会同士の連携を密にしている。

教師も会員の一員として各委員会に属し、代表が運営委員会に参加して、情報を共有することにより、各活動への積極的な協力と、同じねらいをもとに子どもの育成にあたっている。

7 広報活動状況

パソコンとレーザープリンターを活用して、広報委員会が作成・印刷する広報新聞「日佐」は、本会活動の特色のひとつ。平成15年度市P協及び日Pからも表彰を受けている。広報新聞は年3回発行し、PTA活動や地域・学校行事の特色ある活動取材し、会員に見やすくわかりやすい新聞作りを目指している。学校・地域と連携し、「共に育てていくこと」の啓発活動に努めている。

また、運営委員会後に「運営委員会だより」を発行。会議の内容を公開し、諸活動の報告やお知らせ、募集の呼びかけなどに活用している。さらに、情報を共有できるよう、昇降口にPTAコーナーを設け、配布プリントなどを掲示している。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

毎年、めあてをサブタイトルに掲げ、学校と連携をとりながら、子育てについての学習活動を、各委員会が同じ方向性で意図的計画的に行っている。

特に、ここ数年、「めざそう！誇りある日佐っこ！！」をスローガンに、独自の家庭教育指針を掲げ、家庭の教育力向上に向けて活動している。まず、基本的生活習慣の意識付けと改善に向けたアンケートの実施。そして、親子の会話とふれあいをテーマにアンケートや講演会の実施。また、各委員会活動として、テーマを設けた懇談会や朝ごはん

の重要性を学習する等、学校と保護者、そして地域とも共通理解のうえ、地域ぐるみで実践に努めている。

9 成人教育に関する諸活動の状況

人権や子育てについて、講師を招いて会員のための講演会や講習会を企画し、実施している。人権について学び、気付きの場にしたり、子育てを振り返り見直しをする機会としている。学校と地域にも参加を呼びかけ、共通理解の場となっている。

また、様々な研修会や講演会に参加し、学んだことや得たことを、会員に向けても報告し、共通理解と共通実践に努めている。

10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

児童の安全については緊急連絡体制を確立している。自転車に“パトロール中”の看板の取り付けを依頼し、学校訪問時には全会員に黄色の防犯腕章の携帯を促している。また、110 番の家やスクールガードなど、地域の方の協力を得て、地域ぐるみで防犯に努めている。また、子ども向け自転車カードを配布し、取り付けを促すことで、自ら安全運転を意識するよう働きかけている。

会員と子どもとのふれあいの場として、「日佐っこフェスタ」を実施し、バザーやイベントを開催している。110 番の家やスクールガードの方々とも顔見知りになったり、地域諸団体の方々と親しく交流すると共に、感謝の気持ちを伝える場にもなっている。

年に1度、「クリーンアップOSA」と題して親子で校内清掃をしている。実践することで清掃の仕方を身につけ、掃除や片付けの大切さを親子で実感している。

11 地域の教育環境の整備に関する活動

保護者による登校指導や下校時・下校後のパトロールを行い、安全に対する意識を高めている。地域委員会を中心に危険箇所の点検を行い、改善に向けて要望書を作成し、交通安全推進委員会や防犯組合と連携して、安心・安全な環境作りに努めている。また、南警察署依頼の「子どもを守ろう5千人大作戦」では、校区独自のテーマを作り、積極的にパトロール活動に取り組んでいる。

校区及び近隣校区で組織する「ホタルの会」主催の那珂川清掃の参加を呼びかけ、河川及びその周辺の清掃活動に親子で参加している。

毎月、校区の自治協議会に出席し、関係機関・各団体と情報を共有し、共通理解のもと、地域全体での子どもの育成に対して協力を得ている。

12 今後の課題

全員係制で活動しているが、社会の変化に伴い、PTA活動に参加できない会員も増えつつある。PTA活動全般の見直しをすることで、参加しやすい活動内容にし、活動促進につなげたい。今後も、人と人とのふれあいの中でつながりを深め、子育てに生かし、親子で成長できるPTA活動にしていきたい。

また、“基本的生活習慣”や“生活リズム”の定着を図るため、学校・地域と連携を取りながら、継続して同じ方向性で取り組んでいきたい。